二條日記

中

二條日記中巻

十五日こんぐとめる富小路殿にまゐりて例のおくれみちのわく
あさんまちまちの所作歌ゐをかくとさふふえをりてこれ
こう明ちてゆうつまちひらかれまちみれ人のふり
ゆきとれたるうしこうこれはれどおのがあぶるふりゆきを
こぬぎなつしそぐたてせかほてくるれるる孫のみちの
こうまれるこ　のこまひれどかるる鈴屋翁がうく古学のちぐら
たぐうこうとのひなぐう御茶をさせるひてたまくて御ぐさの
をあるまちれるぐ以しこれうほてさまて記さぐもひ
ぐとらせのあ御あるこうはおたくめてこと又をかみをか

鈴木文庫

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十六日 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十七日 [illegible]

古今集 [illegible] 富小路殿 [illegible] 中堀氏 [illegible]

[illegible]

十八日 [illegible] 治部卿 [illegible] 御懸紙

[illegible]

武蔵野

[illegible]

[illegible]

歌会 [illegible]

[illegible] 月千秋友

[illegible]

[illegible] 増愁

[illegible]

旅雨

[illegible]

[illegible] 御會式

[illegible]

十九日きのふ[illegible]と[illegible]て月の欲[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 飯友左門[illegible]

[illegible] 富小路殿[illegible]

[illegible]

廿日てるまよりくもりやすくぬるまぬ御手ごろ
火のまがみてくらくるつみまてふひぐれば
かくらきなよ出てふ也寅のくりかくもてかのけ
うぐやきくう一條てくうあるん大宮うくれば殿のみこ
もみやどのみまもてふおくんなくとひさぐて殿人
てくてくてくやくーくくく

[illegible]殿のみことにて[illegible]

みもの[illegible]

[illegible]おのれもかやうにて[illegible]

伊勢紙 野花留人

[illegible]心のままにあやまりあるきさま[illegible]

[illegible]のひれにかくさるる[illegible]

伊吉竹 秋恋

[illegible]秋の[illegible]

神祇

八百万[illegible]神を國[illegible]

[illegible]四日[illegible]

[illegible]雅方[illegible]愛宕[illegible]

[illegible]嵐山[illegible]

太恭(ウヅヤス) [illegible]臨川寺[illegible]渡月橋[illegible]

[illegible]大堰川[illegible]

[illegible]嵐山[illegible]松[illegible]

[illegible]龍磨

[illegible]満尚規[illegible]ふ事てみるをそれまふあなれどゆゑしき人
みしり[illegible]てあひ[illegible]むこちん川づを西の方二三町ゆき
あとをまふ川のほとりまふ松ばかりそびえて楓もあまた
[illegible]れどまだ色[illegible]ものさびしきとぞ見れ
てをりかをりなれどそこひて[illegible]ぞ小倉の松
[illegible]ぞ[illegible]ぞ[illegible]ぞ

清瀧といふ山里にて谷川をたどりて坂路
をくだりぬれば杖をとどめみるに
ちぢのもふ見もの多くかりそめにかんだかの人をいざなふ
じぶくろの山路の茶屋にてちからをつけとりげてそこ
にてかれる女どもれくのもてなしを小蝶などのとびかよひやうそみえたる
なるこをでしたがひ千尋れ谷底ふかくゆくめをとをかへりてはたと
さきにふりて　ちりやすびまだらくかちなどしてたをしりたる
月どもの俗にまぎらるるかたちなるべきに　みやこにそんのふ
そうきづかれぬ
ゆふかげ　あるぬしらぬもとめあるそ　ひるこ山にて
ときをきておのれ〳〵が仏をあがめあるをとりあつめ
人をいとなみてこれをかたらひてかの山の鳥居
をくぐりて福壽院大善院などいふ僧坊いりみゆ　そのうへの
ぶどうみやしろふいりてをがみたる　三十年ばかりまへ本殿
と何もこれぐ焼くなりて　ゆきとり宮をたんをれ
ゐもをびのおのれみをれふあるをふあるをかをあるをかりん
をぐ新宮造にてまもるけもをくをぐうをげ
しられをとしくみ阿多古神社を火乃神といふきりたて
山みやをあるをいへも御祖大御神とぞ　ゆゑの號や
あるもをさをばうふ笑しらををきみ中絶をふ仏海

[illegible]法師の[illegible]神の御慮[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]坂路[illegible]

御室道とふ石ゐ[illegible]

廣澤の池の[illegible]人の[illegible]道の[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋の野に鹿なくなるこゑのあはれ物にこそあはれなれ
ものゝ音にこそ
こゑ
ものゝ音にこそ
こゑ
ものゝ音にこそ
こゑ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

友欣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

湊船

[illegible]八十乃みなと
日[illegible]び叫げ[illegible]御會式をとれを
六九日きのふ[illegible]のまひつて[illegible]久[illegible]仕ごと
あ[illegible]出でけ[illegible]なかと[illegible]のけ[illegible]もちのこころの[illegible]
月[illegible]人者[illegible]つけ[illegible]でしてこの[illegible]
[illegible]叫ぶて
みな[illegible]常のこずゑのもみぢ[illegible]月を[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]風のやまふ

かなたの[illegible]四[illegible]ふ[illegible]も[illegible]
[illegible]れ[illegible]ぢも[illegible]秋[illegible]
[illegible]の[illegible]あ[illegible]ん[illegible]れ[illegible]山へ
も[illegible]
晦日[illegible]
九月朔日天氣し　殿のみて　宮寺みて[illegible]
[illegible]石清水八幡宮やこのあたふ[illegible]の
[illegible]を[illegible]叫み[illegible]
[illegible]三百人[illegible]
[illegible]

[illegible]の日[illegible]あり[illegible]みぞぎ[illegible]ゆき[illegible]て祇園の御社よ
[illegible]ば貞あり[illegible]れ西[illegible]小簾[illegible]て祇園
又[illegible]園中将殿の[illegible]
[illegible]あ[illegible]し神楽殿[illegible]
[illegible]
多草[illegible]小路[illegible]
錦小路[illegible]千楢並樹[illegible]
[illegible]國[illegible]月[illegible]
[illegible]孫廣伴の[illegible]

二日[illegible]
三日[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]六十[illegible]
[illegible]
[illegible]春門[illegible]真蔭豊秋[illegible]
歌[illegible]鈴屋大人自画小傳[illegible]
[illegible]

[illegible]土佐守は西一遍上人とぶらひて禁中にあこのきて[illegible]
[illegible]大堰川の鵜飼乃[illegible]と踏歌は舞妓乃[illegible]
殿のみこと東山の修学院のあたりにもけがふ[illegible]
[illegible]れ御歌今日月ごろ三八[illegible]
[illegible]
四日[illegible]御殿[illegible]きのふ東山を得
[illegible]松茸[illegible]ふいれて[illegible]
[illegible]
秋の[illegible]
[illegible]

かきくべしとて[illegible]筆筆のこと[illegible]
[illegible]秋の山[illegible]笛の[illegible]
[illegible]の[illegible]
五日[illegible]
六日[illegible]富小路殿[illegible]
[illegible]土佐守ふたのき
[illegible]御歌[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

菊の花ゝうゑ　なさけとも　ふ　咲のぞくむ　ゝちゝそ　まれ
りゝ　ゝ　ゝ　

[illegible]

旅宿虫

[illegible]

庭菊

[illegible]

[illegible]

[illegible]

むこの郡れうけらのもよぶかうたてまつるぬるを
見えてうけらさが郡の秋の色れ物中かてこの所にものを
石畳の山をみく
雪のうへ雪れさらぬ所にもふみてこの山のたんてみれ
日のもとのたうとこれを国王の殿とひのまえ国の人よみをぞ
投擲をてのなもなを陽あふ さぶらけ免のひてみきく
びうきれを所にもうれも みれをひてまうでぬふれ
御器物をうれもうもてたうれうぐでんしでさのうの
そそぐし
十日うの千本れみやどうもあんたん殿のみうとおうまぬ

ぐのうもひいぐうを髪ようきれぐをのまうけれんうを
我のうれたうの産土神八幡宮のうんまうを流鏑馬うのまうひあふ
ちうも うのぐうをうの日をうれぐさうをうぐうをうの先をおのひ中ふ
十一日をうをぐうれ曉をうもふみれ あうもて蘆をひ
をうのあをしんうまうをうをむ 芝ぐれ午のをきぐう
岩崎君おうをうをあうぐのををぐをひをうれをうれ
西をう馬場よ ゆせをうをふおのれを 仕ぐうのあを つれぐ
をうりのをうをれをうをうをうをゆく馬場を二百間ぐう
をうをのをうれ叶をうふ殿のおをうをて西殿ぐうをもうを
のうを笠をうをけをうをうを駒を芝生ふをうををあひて九匹

つるぎをはきて みさをなる
ものの ふのかたち
きりひて まちうけ
たる御馬をして まづ殿のみこと
かつ むかへて のこれる
あるに たづねて
おろんとぞ もとめ
りしとぞ 葵のあるは
ものしとぞ 伺ひ
こめ でしとぞ
あるじの君 宣給
かれ人 ものなれ
なども
おもしろ
しるき
ものの
ものの
ものの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]音楽（オンガク）[illegible]琴笛[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

琴も[illegible]

[illegible]割物（ワリモノ）と

[illegible]

御[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十二日 [illegible] 已のとき [illegible] 御殿よりまゐりて大久保君

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のくにことをあくとゝ笑えあげるどしてあぬてまうでぬ

十三日元きゝ時雨てあとぐ月はとくきみとり空れ

りど阿家ちつうまめとしあふ鶴契遐年とよ歌とて八十翁

のそひの陸奥まをくふ茅えくとあつけう阿つひで方形を

作をれけとば

もれあとど田路を友ふ元ふくやもくみよ芳ち陽

ちえんまみて新をりれらみみやちうしてられをのちれ月ん

きれどとて伊のつくくくきかのれをもをして阿のみ

ぶ月のうをまみをもをちをまを

茅ををきを陽代の方をを月のおをちよ元ふあぐあを

ちをの月をとげをるうゝ國をあぐをるゝ皇國ふのみ

亭子院れ阿をを月ちとぐれるをゝをどかをひ也く

ちげををゝ大ををくを芳ちををひを見芳をを

ちひぐをちをぐゝ野をんをををぐくををんをゝをを

十四日りをあれぐの元ををかゝ茅みのげうむはぐれ

ふをくを月ををの芳ぐをぐををぐ諺のあをれをこを

ぬをををゝをを

をををををもをぶの弗れもをびをやをゝみおびのをけぶもあをん

ををゝいぐをれぐをうちをみゝをちをぐを大久保君つを

して今ををでこをのををもひあをやをれをれをぐををぎをを

[illegible]

十五日 [illegible] 上賀茂のみやしろ [illegible]

[illegible] 保親ぬしを [illegible]

[illegible] 案内者 [illegible] 大宮通 [illegible] 舟岡山紫野の

大徳寺今宮ぬどを道のひがしなる [illegible] 賀茂川の板橋 [illegible]

[illegible] 一の鳥居をいでて [illegible]

の芝生 [illegible] 競馬 [illegible] 西ハ若木の [illegible]

[illegible]

[illegible]

二の鳥居より 御炊屋 侍殿 何 [illegible]

本殿 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十六日雨ふりぬ　[illegible]

つる神社の祭日なりもれで　つるあこてゆきてそ

ゆきてみもそ富小路殿　[illegible]みつうひあうて以北土佐守せうきう

ふ御讃歌（オホンウタ）　[illegible]

くてゆきてふ大堰川の鵜飼のてふ

こぎてせて我もの世よ鵜舟うひまれ月夕さてみもむ

踏歌の舞妓なりて

[illegible]

貞直とをんいみ[illegible]

[illegible]御所ふまあて俊古今集[illegible]

御乗馬ぐ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]裕羽織[illegible]

[illegible]

[illegible]

十七日[illegible]柘植君[illegible]

[illegible]柿本神の[illegible]

[illegible]

言霊の神のまもりぞ[illegible]

[illegible]

十八日 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

十四日の夜、[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

関路秋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

蒼苔満径

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

御幸の道[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

なぐさめまをさせたまふ　ちかき
ゆきのふ大みき　うさぎ　三十人（ミソヂ）あまあまめぐく
ふさきもふつてまれる　服　あまくまして徳大寺皇后
宮夫殿　後騎　北面　太刀　むと
ちとそれぞれ　御衣（オホンゾ）の　ぬれ　御調度（オホンテウド）よ
ひもと　ゆくあまて　永井筑前守殿　みまして　ぬ
らきこか　そのみもの　あまこうぶ　ものまく
ぐ　めされぬ　おろん　ものぐち
しくたまて　つたまて　大御代ふ　まれ
たうほ　おろん　ふ　ものぐ　さあ　ぐられて

られよ　洞　ん　もぐれ　ものまを　ものて　ふ
けふ殿の　みて　ものて　御山荘よ　ぐよ
ものぐて　ものぐて　ものて　ものて　ものて
ものて　ぐは　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて
ものて　ものて　ものて　ものて　ものて

[illegible]奏[illegible]

[illegible]天皇の大御意[illegible]

[illegible]院のおもんぱか[illegible]山[illegible]

[illegible]御[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四隅にはらあるを 饗(ワウ)の[illegible]ゆふ[illegible]

みさうれとあるんぐごとのを 高杯(タカツキ)ふくるうるを菊の[illegible]

ろうれきあのまんをを 仙[illegible]をちを[illegible]

をうをの高杯にあきれうを あるんをうを

をば 三方(サンボウ)にいくもむ やうのを若松の[illegible]

をやうう ねくれうを杯をおうくを 略をうを

をうう ひををうをうを ぐう かをを[illegible]

ををれうを月あ ぜを[illegible]

をうを 有りの月を 好ぐを月をうをうをみ秋を

四月よりを之 あををみぐをうを 百ゆきあをを秋のみや秋を

ゆをけをうを ゆをを還幸(クワンカウ)をの[illegible]殿れみををん

みをををまのぐををを おのれらを[illegible]ねをの海

をれれぐ ゆんずんをぐ 輝光をををく 寺をを川里を

のみををを月をひをのみををかふをーのぼを

大君れぐをれ山れ あををみ月をぐひををあををこをけを

かも川の ゆををひの道ををぐ 月をを おを千本れ

みやぐをうを川をを

ホ二日 を ゆをを きのあを 御幸のをうん あをを海

ををを おをひぐけをを 長欲みぐをを

柳さくあ ゆしりれぐも ゆくさを後りこうしき八隅しし
もあ〜大君高みく〜天津日嗣を日の御子わ ゆらひかを
御心をやすく〜のどけく安御代ののどきを御代と春花のさえ
さらぐ露霜の秋さう〜ぬを 棚機はたもゆふ五百機と
たてる ゆはちの錦ちりぬ黄葉ゆでまして〜ぬで
〜を紅うぐ〜あを紅ゆて 朝日のくまふのぼる大北敷
れ高嶺ゆ ぼるまぶくあのこれ出ふ百磯城の大宮人れ
錦綾れきぬ〜〜れを赤駒のあゆまのうあぐ 叙太刀し
よ少ゆ ゆき梓弓 取ゆて 伴のをれ八十の伴のを
雄々しくあ あもひ ゆきぐやく大御輿をらゆやふ

わ〜〜ゆけて大空とをるふ鳥れうきらく紅ゆでれ みぐら
玉桙のこの道のぐ〜あぐじをゆくひとをろがみ鶏なれゆくひ
ゆ〜〜真十鏡ちぐ〜ぶ〜〜ぶ〜〜ぶ〜

まま

かくこそあれ御神と神なびの神さび給へる大君の御

まきの山山もみぢのうつろひ長月はしぐれのあめぞ

紅のうつろふもみぢ夕の雨はるの芙蓉の

はれまふ今あるもいでもみぢをたづねむとてかぐし

あるひとしたちとしふ天地ふ多日のうつろひ烏玉の

ゆめかとぞ思ひるやうつ仏の笛志貴嶋のやまと琴

をとゝ天の原あづれとゝもし山彦のうつるまでふかきれ

らしゆきとゝまれてきとけでられせるを似ぞけぐし

あとゝれ國の洞のうちふちうや身ぬ天人のゝみや

うとゝ彼のあ〳〵あやしとゝ彼まで語ふ〳〵うたあ〳〵く

ちの藤のぞふ母あ〳〵ぬ行れとゝきこれ〳〵ゆくべ内日

さんみやれ月ゆゝべとゝもひゝとゝ彼あ〳〵彼のみゝも

ゆゝくゝべゝとゝうゝゝゝ彼ゝ彼ゝ彼ゝ彼ゝれゝよ

反歌

山もみのきふれみれぞと指ぐしたゝみぢの陰よみあきたあ

らのあられ大みあゝびめかゝけばさゝゆる風代のみてあゝ者

廿三日ひまのうぐゝう多〳〵で師部よゝあゝきゝ彼ふゝあゝ

ゝあゝゝて御ゝうあゝおゝ川ゝゝゝ御文机ゝゝのみあゝ

おゝゝゝ彼ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝはゝめひて松れ

[illegible]三百首のうちをかりくきそをすぎとかれ
[illegible]なりてもこの囲碁[illegible]
[illegible]五六人[illegible]
[illegible]四日御歌會あるべき御歌[illegible]つ春門[illegible]
[illegible]

遠聞鹿

[illegible]

他上紅葉

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

の屋うむこうを伊ぐるのおらんきうのかたしあ
ゆうぬいたもく　のこげたうをふあゆをそうの
中ふばうたうをもちぬをやなぎ春門こうふ心
あく
廿五日くもりひるすぎでこぐれ夕ぐるまつかう風れ
みこと　ものふ　おなじ　ぐそく　東福寺へ　ちかこうもみも
つうまれ　ぐそくの　ものれど　山中の　小田ぬ
みをつうまれ　おくがうみあ　あるを　辰のこきみたち
ぐ　ぐ　ぐ　

[illegible]ども国の[illegible]て[illegible]れる
[illegible]高麗本朝鮮木と桁梁ふ[illegible]などあ[illegible]ん[illegible]
[illegible]通天ふ[illegible]を[illegible]あり楓ハ
[illegible]東[illegible]うまぐ[illegible]れど西の[illegible]
みれ[illegible]
[illegible]
[illegible]天[illegible]
[illegible]幕[illegible]
ば[illegible]
[illegible]迴廊[illegible]
[illegible]

本尊[illegible]佛[illegible]寺[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]
大[illegible]北典主[illegible]五百羅漢
[illegible]四十七幅[illegible]五十幅
観音[illegible]三十三幅[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]幕[illegible]通天[illegible]

みえるひときれ　きよ　あなたと　ゆみ　ゆで　ゆ

陪前　かのれの　さぶ　ひく

もしもしふ　ゆめ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ

ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ

殿　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ

明　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ

ゆ

[illegible]

紅葉色深

[illegible]

寄江恋

[illegible]

六七日 [illegible] 御歌會 [illegible]

[illegible] 賀茂縣主李鷹翁と春門翁とまゐり [illegible]

[illegible] 秋漸深

[illegible]

[illegible] 社頭樹

[illegible]

李鷹翁 [illegible]

[illegible]

[illegible]

年[illegible] 七十四(サンヂマリヨツ)よ [illegible]

[illegible]

[illegible]

六八日殿のみこと　かりやはけこえふるまて　高雄山ふ　おくしき
きれぬあるじつ居みもつつ　ほりもやふ　保永ぬ母
ものしきれど　ふの山　ゆふ　楓のおちふを　切紙かきれ
しきあるとこそ　ふる　柵の尾もみぢ　みしうあり　ふ
おくれをこそて　谷川ふ　ふれまるもそ紀　なごまふぢあら
ざるよし　ちりぬぢ　こしちりあり
六九日くりかへ　いきかへ　ふ　御殿かまあ矢　御祓ぬでくく
あがりて　五色（イツイロ）れ　あざくの　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
姫ふ　ぬ　ぬ　ぬ　紙　こ　ぬ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ

と　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
こ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ

[illegible]と並木[illegible]おくどころ大人の御像
[illegible]殿の
[illegible]高机
[illegible]
[illegible]千楢
[illegible]十四五人[illegible]

野鶏

秋[illegible]の清水も神をいさめぬせと[illegible]

九月晝

きのみとしどもかれ園[illegible]
大人[illegible]
[illegible]
[illegible]

敏夏

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

五十鈴川まゐる途のかれはぶふるゆくるれたき
ひしとしらみぢ[illegible]みちのれはれしきと天げ[illegible]

[illegible]

十月朔日ひとり[illegible]雪のやうなるあられ[illegible]御[illegible]
きのふぬぎの[illegible]みつひ[illegible]
[illegible]
宣長のみまゐりぐ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

二日 [illegible] 御歌会あられで午の[illegible]

[illegible] 禁裏御守護 [illegible] 梶野土佐守良材居お

[illegible] 冷泉中納言殿へ [illegible] 歌

[illegible] 御会式 [illegible]

庭霜

[illegible]

祈往年恋

いにしへも [illegible]

[illegible] 元亀居春門 [illegible] 御容人 [illegible]

[illegible] 二三人 [illegible]

[illegible]

残菊

[illegible]

寒夜虫

[illegible]

寄約恋

[illegible]

海上船

三日

四日

高雄の紅葉

領地

いざなんときこえけふ

雅方

北野の

妙心寺

惣門

仁和寺

御堂

[illegible]

[illegible] 大原の [illegible] 山ごとをゆふけぶりのせてぞくる

[illegible] 小原女 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山ぬしとなりて高雄のありてある中島といふ [illegible]

[illegible] やまひてえてより 枫のもみぢ

[illegible] 紅葉

[illegible]

[illegible]

[illegible] 中ふ二條のみきれち

[illegible] 何ごとを [illegible]

[illegible]

[illegible]

りの髪を結ぶのを見て人をかしあるとあるを笑ひ給ふ程
ゆきもけしもむとてそとをあるきて谷ふくぐるく格を御ふ
この小川をあるいろ愛宕山のゆをとをふてあるくるに清瀧川
へみをかくるとん坂路をのぐりゆくふ四五丁ばかりにさぶし
神どくとうれあるひとりれどちどりあるくなぐるちるふあ
ひをひぬるよりとりてのぼるぐるとて御堂ふるく
でけるのうるに入るとゆきて地蔵院といふあり
機をおはれおりてを得るりきよりに小田切はれつを
ぐるくれてこをきふ殿のみをるるの於をれるるあるん
をみやきくるけんきるるのをられをを西のるをを

又あるるるを紫谷あるひのあるふかの川水ふるるるる
ばるるををし
清風よをを帰をみ於れぬるるるのあをふるれるむ
ををみくをるがみをかるをを小法ふして入ををあるし
の御ぜいぐれををん機のをるるををかがみふをれるれふ
あをとるのをくふゆををみふををてえをを
ちるぐるむを於のあをえるるふあるれめやるるぐふ
をのれををぐをかぐるるをるるを川の代をの
事をあるるむをををれ於をしぐふをるを聖なをを
をををん大みぐふ知れるるを入ををあるけるる

[illegible]

[illegible]

五六丁北へ[illegible]槙尾(マキノヲ)[illegible]

[illegible]寺の[illegible]

山ゆきみ[illegible]

[illegible]三四丁ゆき[illegible]栂尾(トガノヲ)よりゆき[illegible]雲錦橋[illegible]

[illegible]梅ヶ[illegible]一の[illegible]清龍川のみ[illegible]

[illegible]小楓の大樹[illegible]夕日[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]高山寺[illegible]庭[illegible]西[illegible]

[illegible]

[illegible]禁裏(ウチ)[illegible]紅葉[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の神の[illegible]

[illegible]坂路をくだり雨のなごりの[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]千本[illegible]道のほど二里半と

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の吉今集[illegible]ちを明日なん上賀茂よお
[illegible]
[illegible]
[illegible]

七日[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]る神宮に人麿赤人の二霊をいつ
くなりとぞいふ、うげにふ茶をのみるむらもあるとぞ
みやぶるとぞ、さるにのてほきにふ心をひぞさるうけふ
松田越中久直兄といふ出てあひにこの人これ宮人にたち
そつのこまのきもひあるべの和のそこへこそ
歌をあもむるめぞきつめるべにたこまうむとそきあふ
なりなりー　殿のみこにりさこ二條のみちをいでこを
のひておらやけごこにらぶの家下賀茂川合社あにふ
それの宮にまをめぐひうれそこて年にこらうんにの和
まハいこにそふ御鳥帽子狩衣をまのにそみやこにふひこで

きをふ伊にあそにらびふあにやうにあもし
れにあ伊にうにむ弓代をやこみそぐこにふ幣帛
さぐーにうにこうもあこーーつれにあべの和いにいこう
まらびぐくあめにうにのかこにうをそぐにうこを
をのゆにこーつぐこふきこにみせまをにうにみて法受
にこにこ伊あにうさにあにうにくあぐこーー神毎月のうぐ元
雲海亭のおまをとにこうにこうにこと伊にまと新にまま新
のひ人にうあにまこにのこにこ春門
にうにこにそれにそれにうにとにこにむみる人にまれにをのあみにの
あうぐれ新のに

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

野枯草

人[illegible]

見千師志

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとあれつるとあゆるうつ　やみうなりゝ　かうとく　ゆみ　ゆ　ぶや

高雄の紅葉も大みぞぶとしこふたてまつるあれぞあぶ

しこうもうもてゆくとぞかくいまゝ　ゆうゆ

たぶ　うひ　うひえ　ゆ　ゆ　ゆ

[illegible]

[illegible]

れし　[illegible]が[illegible]

[illegible]鈴木道がめやすひとかふおりて[illegible]月の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十四日　[illegible]　池田何がし　きよ人のぐをたきあとて

[illegible]

十五日　[illegible]　[illegible]　[illegible]大江戸

の青山といふところの御園ふいろいろの草木和歌[illegible]

[illegible]　[illegible]屋いふうびとをいふなだ[illegible]

[illegible]れぞこれぞみやび名つけよ　[illegible]れ名をそれとひ仏を

ごのみ[illegible]れ　[illegible]れて[illegible]人の[illegible]

[illegible]

[illegible]

田夫世の菴　縣見の[illegible]　[illegible]の合[illegible]　由良能斗（ユラノト）　[illegible]登（ト）評

余[illegible]

つけて[illegible]　春門[illegible]

十六日 [illegible]

二條日記中巻

鈴木文庫